

【資料3】

第2回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成 29 年 2 月 7 日

平成 29 年度仁淀川地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

仁淀川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 11 日高村アグリネットワークによる日高村まるごとブランド化（日高村） 【実業主体】 ・日高村 ・JA コスモス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか	【拡充】日高アグリネットワークの連携強化に関する取り組みの内容を修正するとともに、トマトの産地化を核として策定した農業クラスタープランに位置づけられた「日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進」を主な内容に追加する。 併せて、事業主体にJA出資型法人「(株)コスモスアグリサポート」及び「(株)イチネンホールディングス」を追加する。 また、プラン名を「日高まるごとブランド化」に変更する。
2	No. 19 いの町中心市街地の活性化（いの町） 【実業主体】 ・いの町 ・いの町商工会	【拡充】町内への開業の誘致の取り組みに、町所有の建物や土地、空き店舗等の活用による交流人口の増や、土佐和紙職人など産業人材の育成も視野に入れた「いの町中心市街地再構築プラン（H29.2月策定予定）」に基づく取り組みを追加する。

仁淀川地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）と第

No.	平成28年度	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
		13	12	10	9	9	12
1	仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進		●	●	●	●	●
2	薬用作物の産地拡大による所得の向上			●	●	●	●
3	力強い高糖度トマト産地の確立			●	●		●
4	園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化	●	●				
5	加工用ワサビの生産と販売	●					
6	加工用土佐文旦の販売促進	●					
7	生姜の増産と加工品の生産拡大	●					
8	いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進		●				
9	本川きじの販路拡大		●				
10	食用山椒の生産体制の確立と販売促進					●	
11	日高村アグリネットワークによる日高村まるとブランド化						●
12	仁淀川流域における林業・木材産業の振興	●	●	●	●	●	●
13	地域性の高い特用林産物の生産拡大	●	●	●	●	●	●
14	自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化				●		
15	宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化	●					
16	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化	●					
17	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	●	●	●			●
18	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化	●					
19	いの町中心市街地の活性化		●				
20	地域産品を活用した冷菓等の製造販売		●				
21	(株)フードブランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大			●			
22	地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進				●		
23	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大					●	
24	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進						●
25	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化						●
26	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
27	観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化	●					
28	土佐市における体験型観光と食観光の推進	●					
29	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進		●				
30	いの町本川地区での山岳観光の推進		●				
31	仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実			●			
32	歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進				●		
33	越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進					●	
34	体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化					●	
35	「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化						●
36	小村神社周辺の仁淀川かわまちづくり整備による交流人口の拡大と地域の活性化						●
37	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進			●			

3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表

【仁淀川地域】

	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村	No.	平成29年度
	13	12	10	9	9	12		
		●	●	●	●	●	1	仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進
			●	●	●	●	2	薬用作物の産地拡大による所得の向上
			●	●		●	3	力強い高糖度トマト産地の確立
	●	●					4	園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化
	●						5	加工用ワサビの生産と販売
	●						6	加工用土佐文旦の販売促進
	●						7	生姜の増産と加工品の生産拡大
		●					8	いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進
		●					9	本川きじの販路拡大
					●		10	食用山椒の生産体制の確立と販売促進
拡充①						●	11	日高村まるごとブランド化
	●	●	●	●	●	●	12	仁淀川流域における林業・木材産業の振興
	●	●	●	●	●	●	13	地域性の高い特用林産物の生産拡大
				●			14	自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化
	●						15	宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化
	●						16	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化
	●	●	●			●	17	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承
	●						18	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化
拡充②		●					19	いの町中心市街地の活性化
		●					20	地域産品を活用した冷菓等の製造販売
			●				21	(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大
→			●				22	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進
				●			23	地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進
					●		24	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大
						●	25	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進
						●	26	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化
	●	●	●	●	●	●	27	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進
	●						28	観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化
	●						29	土佐市における体験型観光と食観光の推進
		●					30	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進
		●					31	いの町本川地区での山岳観光の推進
			●				32	仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実
				●			33	歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進
					●		34	越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進
					●		35	体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化
						●	36	「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化
						●	37	小村神社周辺の仁淀川かわまちづくり整備による交流人口の拡大と地域の活性化

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 日高村アグリネットワークによる日高村まるごとブランド化 《日高村》	生産農家、加工品製造者、農産物等販売者等によるネットワークを活用し、日高村ブランドの特産品等の開発や販売活動を行うことにより、日高村の知名度の向上、ネットワークメンバーの所得向上及び地域の活性化を目指す。	・日高村 ・JAコスモス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始：H24 ・日高村アグリネットワークの開催(H24～) ・県外への特産品等販促活動(サニーマート、福島屋、まるごと高知他)(H25～) ・日高あぐり大会の開催(H26) ・PR資材の制作(H26) ◆生産農家、加工品製造者、農産物販売者等のネットワークの構築と日高村の知名度向上につながった。	・日高村アグリネットワークの連携強化 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ・新たな特産品の開発	◆日高村アグリネットワークの連携強化 ◆日高村ブランド商品の開発・販売

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 日高村まるごとブランド化 《日高村》	日高村アグリネットワーク(生産農家、加工品製造者、農産物等販売者等)を活用した特産品等の開発・販売活動や日高村特産のトマトを活かした「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図り、交流人口の拡大や移住促進など地域の活性化につなげる。	・日高村 ・JAコスモス ・(株)コスモスアグリサポート ・(株)イチネンホールディングス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始：H24 ・日高村アグリネットワーク会議の開催(H24～28) ・県外への特産品等販促活動(サニーマート、福島屋、まるごと高知他)(H25～28) ・日高あぐり大会の開催(H26～28) ・PR資材の制作(H26～28) ◆生産農家、加工品製造者、農産物販売者等のネットワークの構築と日高村の知名度向上につながった。 ・「オムライス街道スタンプラリー」の開催(H26～28) ・「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の展開(H28～) ◆「オムライス街道」の協力店舗はスタート時の6店舗から11店舗に増え、H26～27の累計でオムライス104,500食を販売するなど村の知名度向上及び事業者等の連携強化につながった。	・日高村アグリネットワークの連携強化 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ・雇用及び移住者の増	◆日高村アグリネットワークの連携強化 ◆「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日高村アグリネットワークの連携強化					→	農産物等の販売額 (H22:3.2億円) (H26:4.3億円)	4.5億円
定期的なネットワーク会議の開催							
新たな事業者等の参加を促す仕組みづくりとネットワーク組織の強化							
日高村ブランド商品の開発・販売					→		
展示商談会等への参加、連携した販促活動の実施							
日高村ブランド商品の検討・試作品づくり		日高村ブランド商品の販売					
村を売り出すためのPRグッズ等の制作							
テレビ・新聞・雑誌等のメディアやインターネットを活用した情報発信							
村の駅ひだかと連携した情報発信							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日高村アグリネットワークの連携強化					→	農産物等の販売額 (H22:3.2億円) (H26:4.3億円)	4.5億円
定期的なネットワーク会議の開催							
新たな事業者等の参加を促す仕組みづくりとネットワーク組織の強化							
新たな特産品の開発及び展示商談会等への参加、連携した販促活動の実施					→	「オムライス街道」による オムライス販売数 (H26:38,300食) (H27:66,200食)	100,000食
テレビ・新聞・雑誌等のメディアやインターネットを活用した情報発信							
商品・加工品開発件数 (H27:0件)							
県外からの移住者数 (H27:2組)							
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進					→	新規就農者数 (H27:2名)	10組(H28～31累計)
<ul style="list-style-type: none"> ・トマトを活かしたローカルブランディング(情報発信事業、日高村プロモーション映像の制作 他) ・「オムライス街道スタンラリー」の拡充 ・トマトを活かした商品・加工品開発 ・トマトを介した健康づくり等各種イベントの開催 ・移住促進策の推進 ・JA出資型法人(株)コスモスアグリサポート・機イテネンホールディングスとの連携による雇用の拡大 							
							4名(H28～31累計)

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 この町中心市街地の活性化 《この町》	この町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。	・この町 ・この町商工会	アクションプランの取組開始:H24 ・イベント『よどがわ七色ロード』の実施(H24~25) ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24.12月) ・小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し、中心市街地の活性化プランを策定(H25) ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき和紙職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協議を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・この町商店街を含む町内の飲食店(21店舗)による「〜いのは生姜やき〜なないろ生姜焼き街道スタンプラリー」を開催(H26、27) ・この町商工会による空き店舗活用への家賃補助(2年間家賃の半額補助。上限5万円)をH27.4月から開始。2店舗が事業を活用して開業。(H27) ・「紙のまち博覧会」の後継事業を行う実行委員会「この町通信局」を立ち上げ、大国さまの大祭に合わせて紙、職人、食をPRする「Kami祭」を開催(H27) ・この町全域で空き店舗、空き家調査を実施(H27) ・産業競争力強化法に基づき、この町が関係団体と連携して行う、新規創業者に対する支援計画を策定した。経済産業省が認定する見込み(H28.1月) ◆全国展開支援事業の取組を通じて事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。また、商店街の注目度上がり、新規開店、店舗の改装、移転など新たな展開を行う事業者が現れるとともに、空き店舗に関する問い合わせも増え、活気が出てきつつある。	・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用	◆中心市街地の連携強化 ◆「この町通信局」によるイベント等の定着 ◆町内への開業の誘致

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 この町中心市街地の活性化 《この町》	この町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。	・この町 ・この町商工会	アクションプランの取組開始:H24 ・イベント『よどがわ七色ロード』の実施(H24~25) ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24.12月) ・小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し、中心市街地の活性化プランを策定(H25) ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき和紙職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協議を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・この町商店街を含む町内の飲食店(21店舗)による「〜いのは生姜やき〜なないろ生姜焼き街道スタンプラリー」を開催(H26~28) ・この町商工会による空き店舗活用への家賃補助(2年間家賃の半額補助。上限5万円)をH27.4月から開始。2店舗が事業を活用して開業。(H27) ・「紙のまち博覧会」の後継事業を行う実行委員会「この町通信局」を立ち上げ、大国さまの大祭に合わせて紙、職人、食をPRする「Kami祭」を開催(H27~28) ・この町全域で空き店舗、空き家調査を実施(H27) ・産業競争力強化法に基づき、この町が関係団体と連携して行う、新規創業者に対する支援計画を策定した。経済産業省が認定する見込み(H28.1月) ◆全国展開支援事業の取組を通じて事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。また、商店街の注目度上がり、新規開店、店舗の改装、移転など新たな展開を行う事業者が現れるとともに、空き店舗に関する問い合わせも増え、活気が出てきつつある。 ・産業振興アドバイザー事業の活用により移住促進情報サイト「ハッピーこの町ターン」をリニューアル(H28) ◆移住促進にとどまらず住民のための総合情報サイトとしても機能強化された。 この町中心市街地再構築検討委員会を立ち上げ、この町中心市街地再構築プラン策定に向けて協議を開始(H28)	・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用	◆中心市街地の連携強化 ◆「この町通信局」によるイベント等の定着 ◆町内への開業の誘致

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
中心市街地の連携強化 暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の運営・体制の見直し					中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所)	8事業所(H28～31累計)	
	情報発信等の機能強化						
	生姜焼き街道の推進						
	「いの通信局」によるイベント等の定着						
	定期的な「いの通信局」各部会の開催						
	「いの通信局」によるKamij祭等のイベント開催						
町内への開業の誘致							
空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施	顧客ニーズに合った店舗の誘致						
	創業、移住及び補助制度等に関するワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応						
	空き店舗活用への家賃補助事業						
	町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場に係る固定資産税相当額)による支援						
	中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
中心市街地の連携強化 暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の運営・体制の見直し					中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所)	8事業所(H28～31累計)	
	情報発信等の機能強化						
	「いの生姜焼き街道」の推進						
	生姜スイーツ開発・販売、PR活動						
	「いの通信局」によるイベント等の定着						
	定期的な「いの通信局」各部会の開催						
	「いの通信局」によるKamij祭等のイベント開催						
町内への開業の誘致							
空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施	顧客ニーズに合った店舗の誘致						
	創業、移住及び補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応						
	空き店舗活用への家賃補助事業の実施						
	町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場に係る固定資産税相当額)による支援						
	中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援						
いの町中心市街地再構築プランの策定	いの町中心市街地再構築プランに基づく施設整備・運営の検討						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 力強い高糖度トマト産地の確立 《仁淀川町、佐川町、日高村》	「学び教え合う場」を中心とした技術の平準化から一歩進めて次世代型の環境制御技術を活用した生産技術の強化を推進する。また、市場や卸売り業者と連携した販路拡大を図るとともに、担い手の確保育成を進めることで高糖度トマトの産地の確立を目指す。	・JAコスモス ・JAコスモストマト生産部会	アクションプランの取組開始：H21 ＜高糖度トマトの産地間競争力の強化＞ ・人材育成及び産地の体制づくりに向けた組織力の強化、栽培マニュアルによる栽培技術の平準化(H21～) ◆生産技術の向上により生産量アップが図られた。 ・食の安全・安心への取組強化、新たな糖度区分による商品開発、販促活動(H21～) ◆高品質なトマトを生産し、安定した出荷が実施できる産地としてのブランド化が進み、販売単価が向上した。 ・「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用した集出荷施設整備及び選果ラインの高度化(H26.12月稼働)(H24～27) ◆軟化果実・芯腐れ果実の選別作業の効率化等につながった。	・生産技術の向上、高位平準化 ・担い手の確保、育成 ・他産地商品との差別化、販売促進の強化	◆経営管理能力及び生産力の強化 ◆産地力強化のための担い手の確保・育成 ◆市場関係者と連携した業務需要の強化





【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 力強い高糖度トマト産地の確立 《仁淀川町、佐川町、日高村》	「学び教え合う場」を中心とした技術の平準化から一歩進めて次世代型の環境制御技術を活用した生産技術の強化を推進する。また、市場や卸売り業者と連携した販路拡大を図るとともに、担い手の確保育成を進めることで高糖度トマトの産地の確立を目指す。	・JAコスモス ・JAコスモストマト生産部会 ・(株)コスモスアグリサポート	アクションプランの取組開始：H21 ＜高糖度トマトの産地間競争力の強化＞ ・人材育成及び産地の体制づくりに向けた組織力の強化、栽培マニュアルによる栽培技術の平準化(H21～) ◆生産技術の向上により生産量アップが図られた。 ・食の安全・安心への取組強化、新たな糖度区分による商品開発、販促活動(H21～) ◆高品質なトマトを生産し、安定した出荷が実施できる産地としてのブランド化が進み、販売単価が向上した。 ・「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用した集出荷施設整備及び選果ラインの高度化(H26.12月稼働)(H24～27) ◆軟化果実・芯腐れ果実の選別作業の効率化等につながった。 ・JA出資型法人「(株)コスモスアグリサポート」設立(H28.8月)	・生産技術の向上、高位平準化 ・担い手の確保、育成 ・他産地商品との差別化、販売促進の強化	◆経営管理能力及び生産力の強化 ◆産地力強化のための担い手の確保・育成 ◆販売戦略の再構築

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					トマト販売額 (H19:4.2億円) (H22:3.7億円) (H26:4.6億円)	5.1億円	
経営管理能力及び生産力の強化 個別カウンセリングや農業簿記記帳による経営管理の強化、栽培マニュアルの改正・環境制御技術の導入による生産技術の強化							
複合経営拠点整備の仕組みづくり・検討		複合経営拠点整備・運用					
							
産地力強化のための担い手の確保・育成 産地提案型等による担い手の確保、研修生の受け入れ体制及び就農支援体制の強化、企業との連携 他							
							
市場関係者と連携した業務需要の強化 市場関係者との販売戦略等の連携、新たな販路の確保、地域ネットワークの活用 等							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					トマト販売額 (H19:4.2億円) (H22:3.7億円) (H26:4.6億円)	5.1億円	
経営管理能力及び生産力の強化 個別カウンセリングや農業簿記記帳による経営管理の強化、栽培マニュアルの改正・環境制御技術の導入による生産技術の強化							
産地力強化のための担い手の確保・育成 産地提案型等による担い手の確保、研修生の受け入れ体制及び就農支援体制の強化、JA出資型法人「㈱コスモスアグリサポート」等との連携							
							
販売戦略の再構築 新たな販路の確保、地域ネットワークの活用等							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>4 園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化</p> <p>《土佐市・いの町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正前</p>	<p>農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など農業を取り巻く厳しい環境の中で、高収量技術の取り組みを推進するとともに、安全・安心を求める消費者ニーズに対応した出荷・販売体制を強化することによって園芸産地を維持・発展させる。</p>	<p>・JAとさし ・JAコスモス伊野支所</p>	<p>アクションプランの取組開始：H21</p> <p>・JAとさし園芸産地ビジョン及びJAコスモス伊野支所管内の園芸産地ビジョンに基づき、技術の向上、担い手の育成等を推進</p> <p>・ピーマンを中心にオランダを参考にした環境制御による高品質安定生産技術(炭酸ガス施用や飽差等)への取組の推進(JAとさしH25～27)</p> <p>◆環境制御技術新規導入農家の増に伴い導入面積が2.8ha増えた。</p> <p>・JAとさし宇佐ピーマン集出荷場を整備、自動秤量包装機の導入(H22～23)</p> <p>・JAとさしのキュウリの集荷場整備を行い、2JAの合同集出荷を開始(H27)</p> <p>◆販売力強化につながった。</p> <p>・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)によるミネラルメロンのPRやブランド化(H27)</p>	<p>・JAとさし・JAコスモス伊野支所における園芸産地ビジョンの早期実現と販売力強化</p>	<p>◆各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践</p> <p>◆高品質・高収量技術の普及</p> <p>◆販売力の強化</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>4 園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化</p> <p>《土佐市・いの町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正後</p>	<p>農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など農業を取り巻く厳しい環境の中で、高収量技術の取り組みを推進するとともに、安全・安心を求める消費者ニーズに対応した出荷・販売体制を強化することによって園芸産地を維持・発展させる。</p>	<p>・JAとさし ・JAコスモス伊野支所</p>	<p>アクションプランの取組開始：H21</p> <p>・JAとさし園芸産地ビジョン及びJAコスモス伊野支所管内の園芸産地ビジョンに基づき、技術の向上、担い手の育成等を推進</p> <p>・ピーマンを中心にオランダを参考にした環境制御による高品質安定生産技術(炭酸ガス施用や飽差等)への取組の推進(JAとさしH25～28)</p> <p>◆環境制御技術新規導入農家の増に伴い導入面積が2.8ha増えた。</p> <p>・JAとさし宇佐ピーマン集出荷場を整備、自動秤量包装機の導入(H22～23)</p> <p>・JAとさしのキュウリの集荷場整備を行い、2JAの合同集出荷を開始(H27)</p> <p>◆販売力強化につながった。</p> <p>・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)によるミネラルメロンのPRやブランド化(H27)</p>	<p>・JAとさし・JAコスモス伊野支所における園芸産地ビジョンの早期実現と販売力強化</p>	<p>◆各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践</p> <p>◆高品質・高収量技術の普及</p> <p>◆販売力の強化</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践					→	・JAとさしピーマン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:3,386t(767t))	3,488t(844t)
提案型担い手確保及び環境保全型農業等の推進、進捗状況の確認による対策の見直し							
高品質・高収量技術の普及					→	・JAとさしキュウリ出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:1,991t(0t))	2,051t(202t)
「まとまりのある園芸産地総合対策事業」、「環境制御技術普及加速化事業」等の実施による生産者への技術導入							
販売力の強化					→	・JAとさしメロン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:11,963ケース(803ケース))	12,322ケース(880ケース)
GAPアイコンシステム、ブランド化等による販売力の強化							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践					→	・JAとさしピーマン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:3,386t(767t))	3,488t(844t)
提案型担い手確保及び環境保全型農業等の推進、進捗状況の確認による対策の見直し							
高品質・高収量技術の普及					→	・JAとさしキュウリ出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:1,991t(0t))	2,051t(202t)
「まとまりのある園芸産地総合対策事業」、「環境制御技術普及加速化事業」等の実施による生産者への技術導入							
販売力の強化					→	・JAとさしメロン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:890t(7t))	917t(8t)
GAPアイコンシステム、ブランド化等による販売力の強化							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 いの町での生姜等加工品 製造施設の整備と販売促進 《いの町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正前</div>	仁淀川地域の基幹品目である生姜の増産及び加工品の生産性の向上を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することにより、いの町内をはじめとする生姜生産者の所得の向上及び地域の雇用拡大につなげる。	・西村青果(株)	アクションプランの取組開始：H26 ・産業振興総合補助金を活用して保冷施設の整備に着手(H27) ・生姜生産農家及び高知県園芸連(当該事業者が生姜原料供給の指定業者となっている)との長年の信頼関係による取引を継続(H27)	・生姜等の加工品の生産能力の維持及び販売力の強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達	◆生産体制の維持と販売強化 ◆原材料の確保



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 いの町での生姜等加工品 製造施設の整備と販売促進 《いの町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正後</div>	仁淀川地域の基幹品目である生姜の増産及び加工品の生産性の向上を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することにより、いの町内をはじめとする生姜生産者の所得の向上及び地域の雇用拡大につなげる。	・西村青果(株)	アクションプランの取組開始：H26 ・産業振興総合補助金を活用して保冷施設の整備に着手(H27) ・生姜生産農家及び高知県園芸連(当該事業者が生姜原料供給の指定業者となっている)との長年の信頼関係による取引を継続(H27～28)	・生姜等の加工品の生産能力の維持及び販売力の強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達	◆生産体制の維持と販売強化 ◆原材料の確保

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産体制の維持と販売強化					 生姜等加工品の販売額 (H26:3.4億円)	3.6億円	
安定的な生姜等加工品の製造 大手食品会社等の取引先とのパートナーシップ							
原材料の確保					 生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続		
生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産体制の維持と販売強化					 生姜等加工品の販売額 (H26:3.4億円)	4.0億円	
安定的な生姜等加工品の製造 大手食品会社等の取引先とのパートナーシップ							
原材料の確保					 生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続		
生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9 本川きじの販路拡大 《いの町》	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町	アクションプランの取組開始:H21 ・生産体制の強化(H21~26) ◆生産設備(貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機)の整備(H26)により増産体制を確立した。 ◆本川手箱きじ生産企業組合を設立(H26.12.5)し、経営組織を強化した。 ・「きじ鍋セット」など首都圏百貨店でインターネット販売を開始(H24) ・通年商品として新商品「きじ重」を開発し、高知市内の料理店でメニュー化、村の駅ひだか、ドラゴン広場、レストパークいのでの販売を開始(H26) ◆メディアに取り上げられたことで認知度が高まり、販売先も増やしたことで売上アップにつながった。	・販路拡大(県内の知名度アップ、首都圏・関西圏) ・大口の販売先の確保 ・需要に対応した安定的な生産体制	◆営業力の強化による販路拡大 ◆安定した生産体制の確保

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9 本川きじの販路拡大 《いの町》	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町	アクションプランの取組開始:H21 ・生産体制の強化(H21~26) ◆生産設備(貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機)の整備(H26)により増産体制を確立した。 ◆本川手箱きじ生産企業組合を設立(H26.12.5)し、経営組織を強化した。 ・「きじ鍋セット」など首都圏百貨店でインターネット販売を開始(H24) ・通年商品として新商品「きじ重」を開発し、高知市内の料理店でメニュー化、村の駅ひだか、ドラゴン広場、レストパークいのでの販売を開始(H26) ◆メディアに取り上げられたことで認知度が高まり、販売先も増やしたことで売上アップにつながった。 ・HACCP研修への参加(H28)	・販路拡大(県内の知名度アップ、首都圏・関西圏) ・大口の販売先の確保 ・需要に対応した安定的な生産体制	◆営業力の強化による販路拡大 ◆安定した生産体制の確保

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大					→	販売額 (H25:7,444千円) (H26:4,913千円)	13,580千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
安定した生産体制の確保					→		
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大					→	販売額 (H25:7,444千円) (H26:4,913千円)	13,580千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
県版HACCP(第2ステージ)の取得	県版HACCP(第3ステージ)又は国際基準HACCP取得に向けた検討・取得				→		
安定した生産体制の確保							
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 《仁淀川地域全域》 修正前	地域の特徴を持った特用林産物(シキミ・サカキ、きのこ類)の生産量の増加や品質向上により、販売を拡大し生産者の所得の向上を図る。	・特用林産物生産団体	アクションプランの取組開始:H21 ・シキミ、サカキの生産の拡大と品質向上への取組(H21~27) ◆生産者や森林技術センターとの連携により作成された栽培指針及び病虫害防除マニュアルが地域内外の生産者に活用されているが、高齢化等によりH25以降生産量は若干減少傾向にある。 ・越知町野老山地区では、補助事業により約17haのシキミ・サカキの圃場整備がされたものの、現在、放置状態となっている。 ・マッシュルームの栽培技術及び生産団体の経営改善にかかる支援、乾燥機導入、商品販売拡大(H25~27) ◆乾燥機導入や栽培技術支援によりマッシュルームの品質が向上するとともに、有利な販路の開拓等により収益増となった。 ・原木マイタケの栽培技術支援(H26~27) ◆いの町越裏門・寺川地区で集落による原木マイタケ栽培が新たに開始された。	・シキミ・サカキ生産の組織化及び産地化 ・生産量の増加 ・品質の向上 ・病虫害対策の徹底	◆栽培技術・品質の向上



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 《仁淀川地域全域》 修正後	地域の特徴を持った特用林産物(シキミ・サカキ、きのこ類)の生産量の増加や品質向上により、販売を拡大し生産者の所得の向上を図る。	・特用林産物生産団体	アクションプランの取組開始:H21 ・シキミ、サカキの生産の拡大と品質向上への取組(H21~28) ・栽培、流通関係研修会の実施(H28) ◆生産者や森林技術センターとの連携により作成された栽培指針及び病虫害防除マニュアルが地域内外の生産者に活用されているが、高齢化等によりH25以降生産量は若干減少傾向にある。 ・越知町野老山地区では、補助事業により約17haのシキミ・サカキの圃場整備がされたものの、H27現在、放置状態となっている。 越知町役場と体制づくりの協議(H28) ◆組織の柱となる生産予定者の辞退、既存品種の市場ニーズとの相違、再整備に係る費用対効果等から計画断念 ・マッシュルームの栽培技術及び生産団体の経営改善にかかる支援、乾燥機導入、商品販売拡大(H25~28) ◆乾燥機導入や栽培技術支援によりマッシュルームの品質が向上するとともに、有利な販路の開拓等により収益増となった。 ・マッシュルーム以外の新たな栽培品種(原木キクラゲ)の試行開始(H28~) ・原木マイタケの栽培技術支援(H26~28) ◆いの町越裏門・寺川地区で集落による原木マイタケ栽培が新たに開始された。	・シキミ・サカキ生産の組織化及び産地化 ・生産量の増加 ・品質の向上 ・病虫害対策の徹底 ・きのこ類の新たな品種の栽培	◆栽培技術・品質の向上

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
栽培技術・品質の向上					シキミ・サカキ生産量 (H27:0.0t)	17.0t
					マッシュルーム出荷量 (H25:9.5t) (H26:14.3t)	22.0t
	移住者の参画や副業者の掘り起こしによる生産体制の拡大				原木マイタケ生産量 (H27:0.1t)	0.6t
	生産者の栽培技術向上と安定的な生産					
	流通体制の整備に向けた支援					
	遊休地や放棄地を活用した栽培地の拡大 (シキミ・サカキ)					
	栽培施設の増設、資材の安定的な調達による生産環境の整備 (マッシュルーム)					



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
栽培技術・品質の向上					シキミ・サカキ生産量 (H27:19.0t)	21.0t
					マッシュルーム出荷量 (H25:9.5t) (H26:14.3t)	22.0t
	移住者の参画や副業者の掘り起こしによる生産体制の拡大				原木マイタケ生産量 (H27:0.1t)	0.6t
	生産者の栽培技術向上と安定的な生産					
	流通体制の整備に向けた支援					
	遊休地や放棄地を活用した栽培地の拡大 (シキミ・サカキ)					
	栽培施設の増設、資材の安定的な調達による生産環境の整備 (マッシュルーム)					
マッシュルーム以外の栽培品目の拡大(原木キクラゲ等)						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化</p> <p>《佐川町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正前</p>	自伐型林業を核とした産業づくりを推進することで、森林環境の保全及び関連事業を含めた雇用の創出と人材育成を目指す。	・佐川町 ・自伐型林業に取組む個人・団体	<p>アクションプランの取組開始：H27</p> <p>＜自伐型林業の確立に向けた取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町自伐型林業推進協議会の設立(H26) ・山林資源を活用した地産地消・地産外商を進めるため、林業者の育成に向けた町民対象の研修等の開催や林業学校等の技術力向上研修への誘導等を行うとともに、町内の山林の調整に着手(H27) ◆山林の集約化が進展 ◆自伐林家等への支援策が具体化 ・低質材の活用促進(H27) ◆木質バイオマス活用にかかる住民の意識の高まりが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自伐型林業を担う人材の育成、産業として成立するビジネスモデルの構築と推進のための組織づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自伐型林業の確立 ◆低質材の活用促進 ◆さかわ産木材を活用したものづくりの推進 ◆学校教育・地域等と連携した人材育成



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化</p> <p>《佐川町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正後</p>	自伐型林業を核とした産業づくりを推進することで、森林環境の保全及び関連事業を含めた雇用の創出と人材育成を目指す。	・佐川町 ・自伐型林業に取組む個人・団体	<p>アクションプランの取組開始：H27</p> <p>＜自伐型林業の確立に向けた取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町自伐型林業推進協議会の設立(H26) ・山林資源を活用した地産地消・地産外商を進めるため、林業者の育成に向けた町民対象の研修等の開催や林業学校等の技術力向上研修への誘導等を行うとともに、町内の山林の調整に着手(H27) ◆山林の集約化が進展 ◆自伐林家等への支援策が具体化 ・低質材の活用促進(H27) ◆木質バイオマス活用にかかる住民の意識の高まりが見られる。 ・さかわ発明ラボの開設(H28.4月) ◆住民参加ワークショップの開催や学校教育との連携により、デジタルによるものづくりの担い手が少しずつ増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自伐型林業を担う人材の育成、産業として成立するビジネスモデルの構築と推進のための組織づくり ・さかわ発明ラボの運営体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自伐型林業の確立 ◆低質材の活用促進 ◆さかわ産木材を活用したものづくりの推進 ◆学校教育・地域等と連携した人材育成

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
自伐型林業の確立					林業関連新規就業者数 (H27:5人)	24人(H28~31累計)
	地域おこし協力隊の採用とその自立化				山林の集約化面積 (H27:0ha)	400ha(H28~31累計)
	林地の集約化					
	自伐型林業研修の実施					
低質材の活用促進					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	バイオマス燃料の利用促進と販路拡大					
	中間土壌の整備と運営の検討					
さかわ産木材を活用したものづくりの推進					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	佐川ものづくり大学の開設・運営とその自立化					
	デジタル加工機の導入・活用					
	低質材を活用した木工品の開発・販売					
学校教育・地域等と連携した人材育成					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	環境教育の実施、体験学習の受入					
	学校教育の現場への加工機導入・活用					
	集落活動センターなどのものづくり拠点の整備・運営					



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
自伐型林業の確立					林業関連新規就業者数 (H27:5人)	24人(H28~31累計)
	地域おこし協力隊の採用とその自立化				山林の集約化面積 (H27:0ha)	400ha(H28~31累計)
	林地の集約化					
	自伐型林業研修の実施					
低質材の活用促進					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	バイオマス燃料の利用促進と販路拡大					
	中間土壌の整備と運営の検討					
さかわ産木材を活用したものづくりの推進					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	さかわ発明ラボの開設・運営とその自立化					
	デジタル加工機の導入・活用					
	低質材を活用した木工品の開発・販売					
学校教育・地域等と連携した人材育成					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	環境教育の実施、体験学習の受入					
	学校教育の現場への加工機導入・活用					
	集落活動センターなどのものづくり拠点の整備・運営					

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化</p> <p>《土佐市》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	「宇佐の一本釣りうるめいわし」を原料にした新たな加工品の開発や鮮魚の販路の開拓により需要の拡大を図るとともに、地域限定の名物食として提供する体制づくりを進め、地域での雇用創出と経済効果の波及を目指す。	・企業組合宇佐もん工房	<p>アクションプランの取組開始：H21</p> <p>・宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(H21～27)</p> <p>◆年間を通じての生産・販売体制の構築、市場調査、うるめを使ったレシピの開発により、販売拡大とブランド化が一定進んだ。</p> <p>・加工場の新設及び加工機械等の整備(H22)</p> <p>◆加工場の新設によって、顧客からのニーズに対応でき、取引件数や売上も着実に伸びてきている。</p> <p>・食の旅行商品化に向けた取組(H26～27)</p> <p>◆食のイベント「一本釣りうるめ祭り」は、市内飲食店等との連携により地域を巻き込んだ取り組みに成長した。また、共通メニュー(つみれ団子を使ったうるめ丼)づくりが進み、うるめいわしの利用促進と関係者の意欲向上につながっている。</p>	<p>・宇佐もん工房の経営の安定化と営業力の強化</p> <p>・原材料の安定的な確保</p>	<p>◆販路拡大と販売促進</p> <p>◆原材料の確保、新商品の開発</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化</p> <p>《土佐市》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	「宇佐の一本釣りうるめいわし」を原料にした新たな加工品の開発や鮮魚の販路の開拓により需要の拡大を図るとともに、地域限定の名物食として提供する体制づくりを進め、地域での雇用創出と経済効果の波及を目指す。	・企業組合宇佐もん工房	<p>アクションプランの取組開始：H21</p> <p>・宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(H21～28)</p> <p>◆年間を通じての生産・販売体制の構築、市場調査、うるめを使ったレシピの開発により、販売拡大とブランド化が一定進んだ。</p> <p>・加工場の新設及び加工機械等の整備(H22)</p> <p>◆加工場の新設によって、顧客からのニーズに対応でき、取引件数や売上も着実に伸びてきている。</p> <p>・加工場の増改築及び加工機器の整備(H28)</p> <p>◆既存加工施設の増改築等により、加工処理能力の向上及び高度な衛生管理が可能となり、販路拡大、売上増に向けた生産体制が整った。</p> <p>・食の旅行商品化に向けた取組(H26～27)</p> <p>・一本釣りうるめいわし推進委員会の設立(H27)</p> <p>◆食のイベント「一本釣りうるめ祭り」は、市内飲食店等との連携により地域を巻き込んだ取り組みに成長した。また、共通メニュー(つみれ団子を使ったうるめ丼)づくりが進み、うるめいわしの利用促進と関係者の意欲向上につながっている。</p>	<p>・宇佐もん工房の経営の安定化と営業力の強化</p> <p>・原材料の安定的な確保</p>	<p>◆販路拡大と販売促進</p> <p>◆原材料の確保、新商品の開発</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大と販売促進					うるめ商品の販売額 (H19: 0千円) (H22: 5,493千円) (H26: 61,550千円)	100,000千円	
展示・商談会への参加							
加工施設の増設の検討・整備							
原材料の確保、新商品の開発					原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発		
原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大と販売促進					うるめ商品の販売額 (H19: 0千円) (H22: 5,493千円) (H26: 61,550千円)	100,000千円	
展示・商談会への参加							
「宇佐の一本釣りうるめいわし」の認知度向上に向けた販売促進活動(一本釣りうるめ祭り・うるめいわしシールラリーの開催等)							
加工施設の増設	県版HACCPの取得						
原材料の確保、新商品の開発					原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発		
原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 《土佐市、いの町、仁淀川町、日高村》	地域の伝統産業である「土佐和紙」は、売上げが低迷し、生産が減少していることから、手すき和紙及び機械すき和紙の県内外での消費拡大を図り、担い手や原料の確保につなげる。特に担い手については、手すき和紙職人、用具職人、槽栽培農家のいずれもが高齢化が深刻な状況となっており、後継者の育成につながる取組を行う。 また、機械すき和紙については、用途拡大に向け、異業種連携やマッチング等を実施し、さらなる販路拡大を目指す。	・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館	アクションプランの取組開始：H21 ・土佐和紙の消費拡大に向けた取組(H21～23) ◆景気低迷やデフレ等の要因で、紙産業全体が大幅に落ち込む中、土佐和紙の知名度の向上、下降の一途をたどっていた販売額減少の鈍化や原料栽培、加工技術の継承に一定の効果が出ている。特に、土佐和紙が認知されるようになり、利用しようという機運の向上が見られた。(卒業証書利用学校の増加、清酒のうへル、龍馬ふるさと博名刺等) ◆廃業していた書道用紙事業の復活や、新規書道半紙の誕生した。 ・「土佐和紙」の保存・継承に向けて職人へのヒアリング調査を実施(H24) ・いの町商工会が小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し策定した「いの町中心市街地の活性化プラン」において紙部会が新しい紙の文化を発信する方向で検討を開始(H25～) ・紙の博物館リニューアル準備会(H26～27) ・「高知国際版画トリエンナーレ展」の開催(H26) ・「土佐和紙職人市」の開催(H26) ・「紙のまち博覧会」の開催(H26) ・「高知家統一セールスキャンペーン」(H26重点プロモーション品目：土佐和紙)との連携 ・土佐和紙のプロモーション、販路拡大等に関する情報交換会(手すき和紙協同組合、製紙工業会、いの町、県)の実施(H26) ◆プラチナプリントの印画紙「土佐白金紙」を開発して国内外への販売を開始した。 ◆紙のまち博覧会は、事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。Kami祭として継続開催が決定している。 ◆プロモーション関連事業「土佐和紙商談会in高知」の開催 ⇒参加県外企業：6社 参加県内事業者：8社 商談結果：試作依頼5件、見積依頼3件	・土佐和紙の販売促進のためのキーマンとなる立場の組織や人材が不在 ・付加価値をつけた商品づくりと販売戦略の構築 ・鳥の子名刺、清帳紙、納経帳、がんび紙等のニーズの高い商品の生産体制が脆弱 ・日本三大和紙産地としての認知度の向上 ・手すき和紙職人等の高齢化、後継者不足 ・土佐和紙の原料、紙漉き用具の確保	◆販路拡大 ◆商品開発 ◆地域が一体となった紙の文化の発信 ◆手すき和紙職人の後継者育成 ◆土佐和紙の原料確保 ◆紙漉き用具の確保

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 《土佐市、いの町、仁淀川町、日高村》	地域の伝統産業である「土佐和紙」は、売上げが低迷し、生産が減少していることから、手すき和紙及び機械すき和紙の県内外での消費拡大を図り、担い手や原料の確保につなげる。特に担い手については、手すき和紙職人、用具職人、槽栽培農家のいずれもが高齢化が深刻な状況となっており、後継者の育成につながる取組を行う。 また、機械すき和紙については、用途拡大に向け、異業種連携やマッチング等を実施し、さらなる販路拡大を目指す。	・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館	アクションプランの取組開始：H21 ・土佐和紙の消費拡大に向けた取組(H21～23) ◆景気低迷やデフレ等の要因で、紙産業全体が大幅に落ち込む中、土佐和紙の知名度の向上、下降の一途をたどっていた販売額減少の鈍化や原料栽培、加工技術の継承に一定の効果が出ている。特に、土佐和紙が認知されるようになり、利用しようという機運の向上が見られた。(卒業証書利用学校の増加、清酒のうへル、龍馬ふるさと博名刺等) ◆廃業していた書道用紙事業の復活や、新規書道半紙の誕生した。 ・「土佐和紙」の保存・継承に向けて職人へのヒアリング調査を実施(H24) ・いの町商工会が小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し策定した「いの町中心市街地の活性化プラン」において紙部会が新しい紙の文化を発信する方向で検討を開始(H25～26) ・紙の博物館リニューアル準備会(H26～27) ・「高知国際版画トリエンナーレ展」の開催(H26) ・「土佐和紙職人市」の開催(H26) ・「紙のまち博覧会」の開催(H26) ・「高知家統一セールスキャンペーン」(H26重点プロモーション品目：土佐和紙)との連携 ・土佐和紙のプロモーション、販路拡大等に関する情報交換会(手すき和紙協同組合、製紙工業会、いの町、県)の実施(H26) ◆プラチナプリントの印画紙「土佐白金紙」を開発して国内外への販売を開始した。 ◆紙のまち博覧会は、事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。Kami祭として継続開催が決定している。 ◆プロモーション関連事業「土佐和紙商談会in高知」の開催 ⇒参加県外企業：6社 参加県内事業者：8社 商談結果：試作依頼5件、見積依頼3件 ・Kami祭の開催(H27～28) ・志国高知 島本維新博「にかかる紙の博物館及び周辺歴史資源のリアル化整備計画」の策定(H28) ・産業振興アドバイザー事業を活用して「紙の博物館 赤店の魅力ある店づくり」を実施(H28)	・土佐和紙の販売促進のためのキーマンとなる立場の組織や人材が不在 ・付加価値をつけた商品づくりと販売戦略の構築 ・鳥の子名刺、清帳紙、納経帳、がんび紙等のニーズの高い商品の生産体制が脆弱 ・日本三大和紙産地としての認知度の向上 ・手すき和紙職人等の高齢化、後継者不足 ・土佐和紙の原料、紙漉き用具の確保	◆販路拡大 ◆商品開発 ◆地域が一体となった紙の文化の発信 ◆手すき和紙職人の後継者育成 ◆土佐和紙の原料確保 ◆紙漉き用具の確保

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大					土佐和紙の販売額 (H22:4.6億円) 機械すき 4.1億円 手すき 0.5億円 (H26:4.8億円) 機械すき 4.4億円 手すき 0.4億円	4.8億円 機械すき4.4億円 手すき 0.4億円
既存の販売ルートへの新たな提案等による販売拡大						
見本市、商談会等への参加による新たな販売ルートの開拓						
紙の博物館売店で販売する土佐和紙商品の品ぞろえの充実						
県内の学校・公共団体等での消費拡大						
首都圏の美術大学や高級雑貨店等をターゲットにした商談会の開催及びセールス活動						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ受付窓口」での対応の充実						
紙の博物館HPでの土佐和紙商品の情報発信及び注文受付						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に向けた版画用紙の見本帳の作成、配布						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に併せた産地商談会の開催						
商品開発					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
製紙会社及び手すき職人の自社製品の開発及びブラッシュアップ						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ窓口」や見本市等で得られるニーズに対応できる商品づくり						
地域が一体となった紙の文化の発信						
紙産業に関わる事業者等のネットワークの構築・連携強化						
かみのひな祭り、Kami祭、紙のこいのぼり等のイベント時や、新商品の発表の場としての土佐和紙職人市の開催						
いの町(高知県)のお土産にできる土佐和紙商品の開発、販売						
紙に親しむ体験メニューづくりと売り込み						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客等の受け入れと観光商品づくり						
・「国際版画トリエンナーレ展」の開催 ・関連イベントの実施						
手すき和紙職人の後継者育成						
手すき職人の人材育成						
土佐和紙の原料確保						
植生産者の維持・確保のための支援策の検討・実践						
紙漉き用具の確保						
現存する用具の保存、管理						
用具職人の人材育成						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大					土佐和紙の販売額 (H22:4.6億円) 機械すき 4.1億円 手すき 0.5億円 (H26:4.8億円) 機械すき 4.4億円 手すき 0.4億円	4.8億円 機械すき4.4億円 手すき 0.4億円
既存の販売ルートへの新たな提案等による販売拡大						
見本市、商談会等への参加による新たな販売ルートの開拓						
紙の博物館売店のリニューアル						
紙の博物館売店で販売する土佐和紙商品の品ぞろえの充実						
県内の学校・公共団体等での消費拡大						
首都圏の美術大学や高級雑貨店等をターゲットにした商談会の開催及びセールス活動						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ受付窓口」での対応の充実						
紙の博物館HPでの土佐和紙商品の情報発信及び注文受付						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に向けた版画用紙の見本帳の作成、配布						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に併せた産地商談会の開催						
商品開発					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
製紙会社及び手すき職人の自社製品の開発及びブラッシュアップ						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ窓口」や見本市等で得られるニーズに対応できる商品づくり						
地域が一体となった紙の文化の発信						
紙産業に関わる事業者等のネットワークの構築・連携強化						
かみのひな祭り、Kami祭、紙のこいのぼり等のイベント時や、新商品の発表の場としての土佐和紙職人市の開催						
いの町(高知県)のお土産にできる土佐和紙商品の開発、販売						
紙に親しむ体験メニューづくりと売り込み						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客等の受け入れと観光商品づくり						
・「国際版画トリエンナーレ展」の開催 ・関連イベントの実施						
手すき和紙職人の後継者育成						
手すき職人の人材育成						
土佐和紙の原料確保						
植生産者の維持・確保のための支援策の検討・実践						
紙漉き用具の確保						
現存する用具の保存、管理						
用具職人の人材育成						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化 《土佐市》	サンシャイン高岡跡地に観光案内機能や農産物等の直販所などを備えた拠点施設を整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることにより来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市 ・土佐市商工会 ・JAとさし 他	アクションプランの取組開始:H23 ・基本計画の策定(H23) ・「ドラゴン広場」整備(H24) ・「ドラゴン広場」オープン(H25) ・「ドラゴン広場」の安定した運営に向けた取組(H26～27) ◆土佐市、商工会、JA等の関係者でドラゴン広場運営協議会を立ち上げ、運営改善に向けた協議を継続して実施しており、関係者のドラゴン広場運営改善に対する意識の高まりと売上増につながった。	・「ドラゴン広場」の安定的な運営 ・高岡商店街への来街者の増	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化 《土佐市》	サンシャイン高岡跡地に観光案内機能や農産物等の直販所などを備えた拠点施設を整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることにより来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市 ・土佐市商工会 ・JAとさし 他	アクションプランの取組開始:H23 ・基本計画の策定(H23) ・「ドラゴン広場」整備(H24) ・「ドラゴン広場」オープン(H25) ・「ドラゴン広場」の安定した運営に向けた取組(H26～28) ◆土佐市、商工会、JA等の関係者でドラゴン広場運営協議会を立ち上げ、運営改善に向けた協議を継続して実施しており、関係者のドラゴン広場運営改善に対する意識の高まりと売上増につながった。 ・チャレンジショップの開設(H28)	・「ドラゴン広場」の安定的な運営 ・高岡商店街への来街者の増	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり						施設直販所での販売額 (H26: 43,466千円)	79,000千円
経営改善による集客施設の安定した運営							
観光案内、情報発信の強化							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の誘致							
商店街を巻き込んだイベントの実施							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり						施設直販所での販売額 (H26: 43,466千円)	79,000千円
経営改善による集客施設の安定した運営							
観光案内、情報発信の強化							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の誘致							
商店街を巻き込んだイベントの実施							
<u>チャレンジショップの開設・チャレンジャーへの経営指導及び商店街への出店支援・フォローアップ</u>							

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大と販売促進					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
国内・海外での展示・商談会への出席・営業力の強化						
ハラール認証を生かした販売強化						
・高速道路SAや関東方面 への営業強化 ・冷凍車(2t)及び移動販売 車両の購入						
インターネットを活用した販売の強化						
営業力強化のための人材育成						
売店の県外・海外展開を検討						
観光客や工場見学者等への販売強化						
売店及び菓子工房での新商品・メニューの開発・販売						
売店2号店(県内)の検討・整備 菓子工房の検討・整備						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携によるツアー客等の誘致 TV・ラジオ・新聞・雑誌等による宣伝広告の実施						
新商品の開発					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
新商品(冷菓及び通年販売できる商品)の開発・販売						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大と販売促進					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
国内・海外での展示・商談会への出席・営業力の強化						
ハラール認証を生かした販売強化						
高速道路SAや関東方面への営業強化						
インターネットを活用した販売の強化						
営業力強化のための人材育成						
生産体制の強化(工場・設備の拡充・整備)						
県版HACCPの取得						
売店の県外・海外展開の検討・整備						
観光客や工場見学者等への販売強化						
売店での新商品・メニューの開発・販売						
売店(1号店)施設の拡充・整備 売店(2号店)の整備						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携によるツアー客等の誘致 TV・ラジオ・新聞・雑誌等による宣伝広告の実施						
新商品の開発					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
新商品(冷菓及び通年販売できる商品)の開発・販売						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 《仁淀川町》	カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家	アクションプランの取組開始:H21 ・産業振興総合補助金を活用して仁淀川町が専用水道施設を整備(H21) ◆加工処理能力が向上し、カット野菜の販売が拡大された。 ・産業振興推進総合支援事業費補助金による施設規模の拡大に向けた現状分析と事業計画策定(H25、26) ・四国(H25～)、関西圏(H27～)への営業強化 ・カット野菜のブランド化推進(H26、27) ・農商工等連携事業による新商品開発(H26～) ◆新商品の開発や販路の拡大により、売上高が増加した。 3.2億円(H22)→4.6億円(H27) ◆中山間地域の雇用増につながった。 ・県内における原料供給体制の検討・推進(H20～) ◆県内農家と連携して大根やグリーンリーフの県内調達が進んだ。	・現施設の生産能力の限界と老朽化	◆生産能力拡大に向けた施設整備 ◆販路拡大、商品開発 ◆原料供給体制の強化

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 《仁淀川町》	カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家	アクションプランの取組開始:H21 ・産業振興総合補助金を活用して仁淀川町が専用水道施設を整備(H21) ◆加工処理能力が向上し、カット野菜の販売が拡大された。 ・産業振興推進総合支援事業費補助金による施設規模の拡大に向けた現状分析と事業計画策定(H25、26) ・四国(H25～)、関西圏(H27～)への営業強化 ・カット野菜のブランド化推進(H26～28) ・農商工等連携事業による新商品開発(H26～27) ◆新商品の開発や販路の拡大により、売上高が増加した。 3.2億円(H22)→5.6億円(H28) ◆中山間地域の雇用増につながった。 ・県内における原料供給体制の検討・推進(H20～28) ◆県内農家と連携してネギや大根、グリーンリーフの県内調達が進んだ。	・現施設の生産能力の限界と老朽化	◆生産能力拡大に向けた施設整備 ◆販路拡大、商品開発 ◆原料供給体制の強化

修正後

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
生産能力拡大に向けた施設整備				→	(株)フードブランドの販売額 (H19:2.2億円) (H22:3.2億円) (H26:4.7億円)	7.6億円
生産規模拡大や効率的な生産に向けた関係者による財源対策・設備仕様等の協議						
施設整備						
販路拡大、商品開発				→		
経営改善計画を基にした販路拡大、新商品開発						
原料供給体制の強化				→		
県内をはじめとする各産地との原料供給体制の確立						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
生産能力拡大に向けた施設整備				→	(株)フードブランドの販売額 (H19:2.2億円) (H22:3.2億円) (H26:4.4億円)	6.4億円
生産能力拡大に向けた関係者による協議						
施設整備 高知県版HACCPの取得						
販路拡大、商品開発				→		
経営改善計画を基にした販路拡大、新商品開発						
原料供給体制の強化				→		
契約農家との取引増、自社による原料生産の仕組みづくり						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》 修正前	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始：H21 ・酪農家を含めた農工商連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備（H22、23） ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施（H21～27） ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定（H26） ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施（H25～27） ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。 ・牛乳の販路拡大	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》 修正後	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始：H21 ・酪農家を含めた農工商連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備（H22、23） ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施（H21～28） ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定（H26） ・産振アドバイザー事業を活用し、イベントの効果的な実施等地乳ブランド普及に向けた取り組みを検討（H28） ・南吉本乳業が産業振興総合補助金を活用して、さかわの地乳製造施設整備を実施（H28） ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施（H25～27） ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等</div>					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.3億円	
売れる仕組みづくり <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">施設整備の検討など</div>							
牛乳加工施設の整備及び販路拡大 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">南吉本乳業加工施設の整備</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">県版HACCPの取得などにより、県外量販店への外商等販路拡大</div>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等</div>					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.57億円	
売れる仕組みづくり <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">施設整備の検討など</div>							
牛乳加工施設の整備及び販路拡大 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">南吉本乳業加工施設の整備</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">高知県版HACCPの取得</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px; margin: 5px 0;">県外量販店等への販路拡大</div>							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化 《日高村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	村の駅ひだかを拠点とし、日高村をはじめとする特産品の販売を促進するとともに、周辺の観光施設と連携したネットワークを形成することで、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・日高村 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始：H21 ・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)を活用してさんさん市施設整備計画策定(H24) ・産業振興アドバイザー事業を活用し日高村総合発信拠点施設整備検討委員会を実施し運営体制等を検討(H25) ・日高村観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめ、観光ガイド組織の立上げやガイド育成、モニターツアー等を実施(H25) ・産業振興総合補助金を活用してさんさん市施設の拡充整備(直販所に加えて、観光情報発信コーナー、喫茶店、厨房・イートインコーナーを新設)(H25～) ・公募により駅長(支配人)を採用(H26.7月) ・運営母体となる第三セクターを設立し、「村の駅ひだか」をオープン(H26.11月) ・駐車スペース拡大により47台分を確保(村事業) ◆「村の駅ひだか」としてリニューアルオープンし、特産品のトマトをはじめとする地域ならではの商品を前面に出した売り場づくりや地域住民のための毎日買えるワンストップ店舗づくりに取り組んでおり、オープン以降売上が好調。また、施設内に「村の案内所ひだか」が併設されたことで、観光をはじめとする日高村の情報発信機能が充実し、日高村の魅力を十分にPRできるようになった。	・夏場や時間帯での野菜等の品薄 ・日高村の商品のラインアップの増 ・加工品の充実 ・出荷者部会活動の停滞	◆直販市の機能強化及び観光情報の発信



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化 《日高村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	村の駅ひだかを拠点とし、日高村をはじめとする特産品の販売を促進するとともに、周辺の観光施設と連携したネットワークを形成することで、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・日高村 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始：H21 ・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)を活用してさんさん市施設整備計画策定(H24) ・産業振興アドバイザー事業を活用し日高村総合発信拠点施設整備検討委員会を実施し運営体制等を検討(H25) ・日高村観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめ、観光ガイド組織の立上げやガイド育成、モニターツアー等を実施(H25) ・産業振興総合補助金を活用してさんさん市施設の拡充整備(直販所に加えて、観光情報発信コーナー、喫茶店、厨房・イートインコーナーを新設)(H25～26) ・公募により駅長(支配人)を採用(H26.7月) ・運営母体となる第三セクターを設立し、「村の駅ひだか」をオープン(H26.11月) ・駐車スペース拡大により47台分を確保(村事業) ◆「村の駅ひだか」としてリニューアルオープンし、特産品のトマトをはじめとする地域ならではの商品を前面に出した売り場づくりや地域住民のための毎日買えるワンストップ店舗づくりに取り組んでおり、オープン以降売上が好調。また、施設内に「村の案内所ひだか」が併設されたことで、観光をはじめとする日高村の情報発信機能が充実し、日高村の魅力を十分にPRできるようになった。	・夏場や時間帯での野菜等の品薄 ・日高村の商品のラインアップの増 ・加工品の充実 ・出荷者部会活動の停滞 ・店舗の狭隘 ・観光案内所機能の充実	◆直販市の機能強化及び観光情報の発信

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
直販市の機能強化及び観光情報の発信						直販市の販売額 (H23:59,126千円) (H26:104,382千円)	200,000千円
経営改善による直販市の安定した運営						フットパス等体験観光 客数 (H26:241人)	400人
継続した品揃えの充実や集荷体制の確立など出荷者部会との連携強化							
特産品等の開発・販売							
日高村の情報発信拠点としての機能の充実							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
直販市の機能強化及び観光情報の発信						直販市の販売額 (H23:59,126千円) (H26:104,382千円)	200,000千円
経営改善による直販市の安定した運営						フットパス等体験観光 客数 (H26:241人)	400人
継続した品揃えの充実や集荷体制の確立など出荷者部会との連携強化							
特産品等の開発・販売							
日高村の情報発信拠点としての機能の充実							
店舗の強弱対策の検討	店舗の拡充・整備						
	観光案内所の拡充・整備	観光協会組織の立ち上げ検討・整備		観光協会設立・運営			

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ファンの拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川のブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会	アクションプランの取組開始:H23 ・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22) ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした観光・物販情報の発信(H23～) ・旅行商品及び観光資源等のプロモーション活動と商品化に向けた旅行会社のサポート(H23～) ・着地型観光旅行商品の造成(H23～) ・市町村や観光協会の観光資源の磨き上げに関するサポート(H23～) ・中長期計画の策定(H27.3月) ・インバウンド対応の推進(H27～) ・一般社団法人化(H27.12月) ◆H22の仁淀川地域観光協議会設立以降、地域の観光施設や観光資源にマッチした旅行会社を中心にセールスやサポートを行い、実現したツアーによる流域への誘客数は、年々実績を伸ばしている。 ◆旅行会社のパンフレット掲載、HP、ブログ、FB、観光物産展の開催など、一般旅行者に向けた観光情報の発信事業にも取り組み、テレビや雑誌等マスコミにも仁淀川が取り上げられ、着実に知名度が向上している。 ◆H27.3月には広域観光の推進及び協議会の安定した運営を目指して「中長期計画」を策定し、毎月の幹事会で中長期計画の実践に向けた協議を継続して行っている。この中でこれまでの任意団体から法人化(「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」を設立(H27.12月))することで運営組織の体制強化が図られ、取組のバージョンアップに着手している。 ・ツアー催行本数 H24:110本 H25:149本 H26:164本 ・ツアー客数 H24:2,477人 H25:3,660人 H26:4,153人	・旅行会社や観光客の多様なニーズに対応できる旅行商品の企画及び商品化 ・観光地としての認知度のさらなる向上 ・外国人観光客の受け入れ環境の整備 ・6市町村、観光協会及び地域の観光関係者とのさらなる連携の強化 ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録等)	◆観光客の誘致 ◆観光資源の旅行商品化 ◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化 ◆外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備 ◆仁淀川地域の観光に携わる人材の育成 ◆中長期計画に基づく組織体制の強化

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ファンの拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川のブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会	アクションプランの取組開始:H23 ・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22) ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした観光・物販情報の発信(H23～) ・旅行商品及び観光資源等のプロモーション活動と商品化に向けた旅行会社のサポート(H23～) ・着地型観光旅行商品の造成(H23～) ・市町村や観光協会の観光資源の磨き上げに関するサポート(H23～) ・中長期計画の策定(H27.3月) ・インバウンド対応の推進(H27～) ・一般社団法人化(H27.12月) ◆H22の仁淀川地域観光協議会設立以降、地域の観光施設や観光資源にマッチした旅行会社を中心にセールスやサポートを行い、実現したツアーによる流域への誘客数は、年々実績を伸ばしている。 ◆旅行会社のパンフレット掲載、HP、ブログ、FB、観光物産展の開催など、一般旅行者に向けた観光情報の発信事業にも取り組み、テレビや雑誌等マスコミにも仁淀川が取り上げられ、着実に知名度が向上している。 ◆H27.3月には広域観光の推進及び協議会の安定した運営を目指して「中長期計画」を策定し、毎月の幹事会で中長期計画の実践に向けた協議を継続して行っている。この中でこれまでの任意団体から法人化(「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」を設立(H27.12月))することで運営組織の体制強化が図られ、取組のバージョンアップに着手している。 ・ツアー催行本数 H24:110本 H25:149本 H26:164本 H27:147本 ・ツアー客数 H24:2,477人 H25:3,660人 H26:4,153人 H27:3,784人 ・産業振興アドバイザー事業を活用して高知銀行ノベルティグッズ及び土産品を開発(H28)	・旅行会社や観光客の多様なニーズに対応できる旅行商品の企画及び商品化 ・観光地としての認知度のさらなる向上 ・外国人観光客の受け入れ環境の整備 ・6市町村、観光協会及び地域の観光関係者とのさらなる連携の強化 ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録等)	◆観光客の誘致 ◆観光資源の旅行商品化 ◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化 ◆外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備 ◆仁淀川地域の観光に携わる人材の育成 ◆中長期計画に基づく組織体制の強化

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値 (H31)
観光客の誘致					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行会社へのプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)						
「奇跡の清流仁淀川」を生かした仁淀川地域での観光戦略の策定、知名度の向上(ブランド化)						
ワンストップ窓口の機能強化(ランドオペレーター機能及び地域コーディネート機能の強化)						
観光関係調査の実施(モニターツアー等によるアンケート調査の実施、指標や目標の設定、効果測定のために把握する必要がある基礎数値の調査)					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
観光資源の旅行商品化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
観光資源の発掘・レベルアップ(市町村や観光関係者と連携した観光資源の発掘、体験プログラム等の磨き上げ及び実施体制の整備)						
旅行商品化への取組(ターゲット別・テーマ別など観光資源を組み合わせた周遊ツアー・滞在型ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)						
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
地域の観光情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)						
広域観光案内(来訪や電話による紹介への対応、地域のお勧め情報の提供)						
外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
Webサイト等を活用した仁淀川地域の魅力発信、看板やメニュー標記の多言語化等による受け入れ環境の整備						
仁淀川地域の観光に携わる人材の育成					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
旅行商品化、観光のトレンド、観光資源のレベルアップ等のための研修会等の開催(対象:市町村、観光協会、仁淀川地域情報員、観光施設、宿泊施設、道の駅など)						
中長期計画に基づく組織体制の強化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
中長期計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会のパートナーとの連携強化						
自主財源の確保(賛助会費、旅行会社等からの販売手数料、HP・パンフレット等での有料広告など)						
旅行業登録に向けた検討	旅行業登録	旅行業を活用した旅行商品の企画・造成・販売			主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
		観光動向調査				
日本版DMO登録に向けた観光戦略の策定	日本版DMO登録	観光戦略に基づく実践・観光地域づくり				



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値 (H31)
観光客の誘致					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行会社へのプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)						
「奇跡の清流仁淀川」を生かした仁淀川地域での観光戦略の策定、知名度の向上(ブランド化)						
ワンストップ窓口の機能強化(ランドオペレーター機能及び地域コーディネート機能の強化)						
観光関係調査の実施(モニターツアー等によるアンケート調査の実施、指標や目標の設定、効果測定のために把握する必要がある基礎数値の調査)					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
観光資源の旅行商品化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
観光資源の発掘・レベルアップ(市町村や観光関係者と連携した観光資源の発掘、体験プログラム等の磨き上げ及び実施体制の整備)						
旅行商品化への取組(ターゲット別・テーマ別など観光資源を組み合わせた周遊ツアー・滞在型ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)						
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
地域の観光情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)						
広域観光案内(来訪や電話による紹介への対応、地域のお勧め情報の提供)						
外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
Webサイト等を活用した仁淀川地域の魅力発信、看板やメニュー標記の多言語化等による受け入れ環境の整備						
仁淀川地域の観光に携わる人材の育成					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
旅行商品化、観光のトレンド、観光資源のレベルアップ等のための研修会等の開催(対象:市町村、観光協会、仁淀川地域情報員、観光施設、宿泊施設、道の駅など)						
中長期計画に基づく組織体制の強化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
中長期計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会のパートナーとの連携強化						
自主財源の確保(賛助会費、旅行会社等からの販売手数料、物販収入など)						
旅行業登録	旅行業登録	旅行業を活用した旅行商品の企画・造成・販売			主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
		観光動向調査				
日本版DMO登録に向けた観光戦略の策定	日本版DMO登録	観光戦略に基づく実践・観光地域づくり				

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化 一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉及び山荘しらすを観光の情報発信拠点として活用することを検討</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">観光情報発信拠点の設置及び情報発信・PR</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">跡地の活用策の検討</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">山荘しらすの耐震工事実施設計</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">山荘しらすの整備</div> </div>					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H26:55,482人)	57,000人
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化 新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">新たな体験メニューの検討</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">体験メニューの試行</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み</div> </div> インターネット等を活用したPR・情報発信						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化 一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス</div> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 5px; width: 100%;">木の香温泉及び山荘しらすの観光情報発信拠点化(ビジターセンター等)の検討・整備、観光情報発信・PR</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">駐車場の拡充・整備</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">山荘しらすの耐震工事実施設計</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">山荘しらすの整備</div> </div>					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H26:55,482人)	57,000人
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化 新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">新たな体験メニューの検討</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">体験メニューの試行</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み</div> </div> インターネット等を活用したPR・情報発信						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">山岳ガイド組織の設立</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;">山岳ガイドの養成・ガイド実践</div> </div>						

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信					→	主要観光施設入込数 (4施設、4観光資源) (H26:70,189人)	73,700人
観光協会を中心に、役場・地域づくり団体等と連携した情報共有、観光客への効果的なプロモーション							
施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進					→		
主要な観光施設の整備、看板等情報発信ソールの充実							
地域のおもてなしスキル向上による県外観光客(潜在型ファン)の誘致							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信					→	主要観光施設入込数 (4施設、4観光資源) (H26:70,189人)	73,700人
観光協会を中心に、役場・地域づくり団体等と連携した情報共有、観光客への効果的なプロモーション							
施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進					→		
ガイドの養成、派遣のための仕組みづくり							
主要な観光施設の整備、看板等情報発信ソールの充実							
地域のおもてなしスキル向上による県外観光客(潜在型ファン)の誘致							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進《佐川町》	歴史的な街並みの整備を行うとともに、観光資源の効果的な活用により、「歴史と文教のまち・佐川」の魅力をもっと感じられるまちづくりを行政・観光協会・地域が一体となって進める。	・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体	アクションプランの取組開始：H21 ・牧野富太郎生家を復元した牧野富太郎ふるさと館の整備・開設（H25.4月） ・浜口邸の改修整備・開設（H25.10月） ・名教館の移築整備・供用開始（H26.3月） ◆歴史と文教をテーマにした一体的なまちづくりの取組により、歴史的町並みの整備が進んだ。 ・さかわ観光協会設立（H25） ・さかわ観光協会事務局長を全国公募により配属（H27.4月） ・上町まち歩きガイドの充実強化（H25～27） ◆さかわ観光協会の体制強化により関係機関の連携が進むなどソフト面が整備され、おもてなし体制が強化された。 ◆産振アドバイザー事業の活用により、まち歩きガイドの充実やさかわ観光協会の体制強化を図るなど組織づくりも進んでいる。 ◆仁淀川地域観光協議会のセールス活動による団体客の誘致も成果を上げており、佐川を訪れる観光客は増大している。	・さらなる誘客に向けて、観光協会を中心に関係機関・団体や住民が一体となったチーム佐川でのおもてなしの体制づくり	◆観光資源の利活用、効果的な情報発信 ◆体験型観光の推進 ◆おもてなしの体制づくり

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進《佐川町》	歴史的な街並みの整備を行うとともに、観光資源の効果的な活用により、「歴史と文教のまち・佐川」の魅力をもっと感じられるまちづくりを行政・観光協会・地域が一体となって進める。	・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体	アクションプランの取組開始：H21 ・牧野富太郎生家を復元した牧野富太郎ふるさと館の整備・開設（H25.4月） ・浜口邸の改修整備・開設（H25.10月） ・名教館の移築整備・供用開始（H26.3月） ・旧竹村洋服店の整備・活用開始（H28.10月） ・嘉末維新博に向けて、青山文庫の改修整備及び案内・誘導看板の整備や周遊先施設の展示充実、情報発信機能の強化等を実施（H28） ◆歴史と文教をテーマにした一体的なまちづくりの取組により、歴史的町並みの整備が進んだ。 ・さかわ観光協会設立（H25） ・さかわ観光協会事務局長を全国公募により配属（H27.4月） ・上町まち歩きガイドの充実強化（H25～28） ◆さかわ観光協会の体制強化により関係機関の連携が進むなどソフト面が整備され、おもてなし体制が強化された。 ◆産振アドバイザー事業の活用により、まち歩きガイドの充実やさかわ観光協会の体制強化を図るなど組織づくりも進んでいる。 ◆仁淀ブルー観光協議会のセールス活動による団体客の誘致も成果を上げており、佐川を訪れる観光客は増大している。	・嘉末維新博の開催を契機とし、さらなる誘客に向けて、観光協会を中心に関係機関・団体や住民が一体となったチーム佐川でのおもてなしの体制づくり	◆観光資源の利活用、効果的な情報発信 ◆体験型観光の推進 ◆おもてなしの体制づくり

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
観光資源の利活用、効果的な情報発信 歴史的な遺産や街並みの維持・管理、既存施設や資料等の見せ方の工夫、パンフレット・HP等の活用、関係機関との連携による情報共有・情報発信など					→	上町地区への入込客数 (H26:15,000人)	20,000人	
体験型観光の推進 体験型観光メニューづくり・実施						上町まち歩きガイド利用者数 (H26:4,585人)		5,000人
おもてなしの体制づくり 観光エキスパート人材の育成、観光客受け入れ体制の強化(観光協会・行政・住民の協働、仁淀川地域での広域観光の推進など)								



第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
観光資源の利活用、効果的な情報発信 歴史的な遺産や街並みの維持・管理、既存施設や資料等の見せ方の工夫、パンフレット・HP等の活用、関係機関との連携による情報共有・情報発信など					→	上町地区への入込客数 (H26:15,000人)	25,000人	
体験型観光の推進 体験型観光メニューづくり・実施						上町まち歩きガイド利用者数 (H26:4,585人)		5,000人
おもてなしの体制づくり 観光エキスパート人材の育成、観光客受け入れ体制の強化(観光協会・行政・住民の協働、仁淀川地域での広域観光の推進など)								

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
34 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化 《越知町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">修正前</div>	仁淀川でのカヌー・ラフティングや横倉山などの地域資源を活用した体験型観光を束ねる拠点として、(株)スノーピーク監修によるキャンプ場を整備・運営し、仁淀ブルーの全国発信と観光客誘致による交流人口の拡大と、地域の活性化を目指す。	越知町	アクションプランの取組開始：H28		◆キャンプ場の整備と運営 ◆地域の観光資源とのコラボと情報発信



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化 《越知町》 <div style="border: 1px solid black; background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">修正後</div>	仁淀川でのカヌー・ラフティングや横倉山などの地域資源を活用した体験型観光を束ねる拠点として、(株)スノーピーク監修によるキャンプ場を整備・運営し、仁淀ブルーの全国発信と観光客誘致による交流人口の拡大と、地域の活性化を目指す。	越知町	アクションプランの取組開始：H28 ・キャンパイベントの実施(H28) ・アウトドア雑誌への掲載による情報発信(H28) ・基本計画の策定(H28) ・基本設計・実施設計(H28)	・仁淀川流域における観光拠点としての施設の整備と機能の充実 ・仁淀川流域の観光関係者との連携の強化 ・情報発信の強化	◆キャンプ場の整備と運営 ◆地域の観光資源とのコラボと情報発信

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
							
キャンプ場の整備と運営 基本計画策定	基本設計、実施設計、施設整備	キャンプ場開設・運営、㈱スノーピークとの連携					
							
地域の観光資源とのコラボと情報発信							
・地域資源調査 ・イベントプログラムの試行	地域資源を活用した体験メニューづくり						
	体験メニュー・イベント提供						
情報発信強化の検討	キャンプ場オープンに向けた告知	情報発信、㈱スノーピークとの連携					
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー等の受け入れ、観光商品づくり、情報発信							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
							
キャンプ場の整備と運営 基本計画策定	基本設計、実施設計、施設整備	キャンプ場開設・運営、㈱スノーピークとの連携					
							
地域の観光資源とのコラボと情報発信							
地域資源調査	地域資源を活用した体験メニューづくり						
	イベントプログラムの試行						
情報発信強化の検討	キャンプ場オープンに向けた告知	情報発信、㈱スノーピークとの連携					
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー等の受け入れ、観光商品づくり、情報発信							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>37 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進</p> <p>《仁淀川町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正前</p>	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・榛ビバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始：H28	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	<p>◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進</p> <p>◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化</p> <p>◆後継者及び担い手の確保・育成</p> <p>◆榛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>22 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進</p> <p>《仁淀川町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正後</p>	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・榛ビバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	<p>アクションプランの取組開始：H28</p> <p>・<u>榛ビバ沢渡による商品開発(H28～)</u></p> <p>◆<u>茶の加工品開発に取り組み、商品ラインアップの拡充とあわせて売上安定化を図った。</u></p> <p>・<u>榛ビバ沢渡による産業振興総合補助金を活用した施設整備の検討(H28～)</u></p>	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	<p>◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進</p> <p>◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化</p> <p>◆後継者及び担い手の確保・育成</p> <p>◆榛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						主要事業者の販売額 (H27:50,000千円)	80,000千円
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進						うち、(株)バ沢渡の販売額 (H27:20,000千円)	41,840千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進							
商品開発、販売促進などによる経営の持続化							
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							
後継者及び担い手の確保・育成							
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							
(株)バ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備							
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(株)バ沢渡施設整備にかかる事業計画策定</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(株)バ沢渡施設整備</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(株)バ沢渡施設オープン</div>					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						主要事業者の販売額 (H27:50,000千円)	80,000千円
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進						うち、(株)バ沢渡の販売額 (H27:20,000千円)	41,840千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進							
商品開発、販売促進などによる経営の持続化							
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							
後継者及び担い手の確保・育成							
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(株)バ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備</div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討</div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(株)バ沢渡施設整備にかかる事業計画策定</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(株)バ沢渡施設整備・オープン</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イベント等の実施による集客、一般社団法人仁淀ブルー観光協議会等と連携したツアー客の受入、情報発信</div>					